

第10節 動物

10-1 調査

1. 調査方法

各調査項目における調査方法及び調査頻度、時期等を表4-10-1に示す。

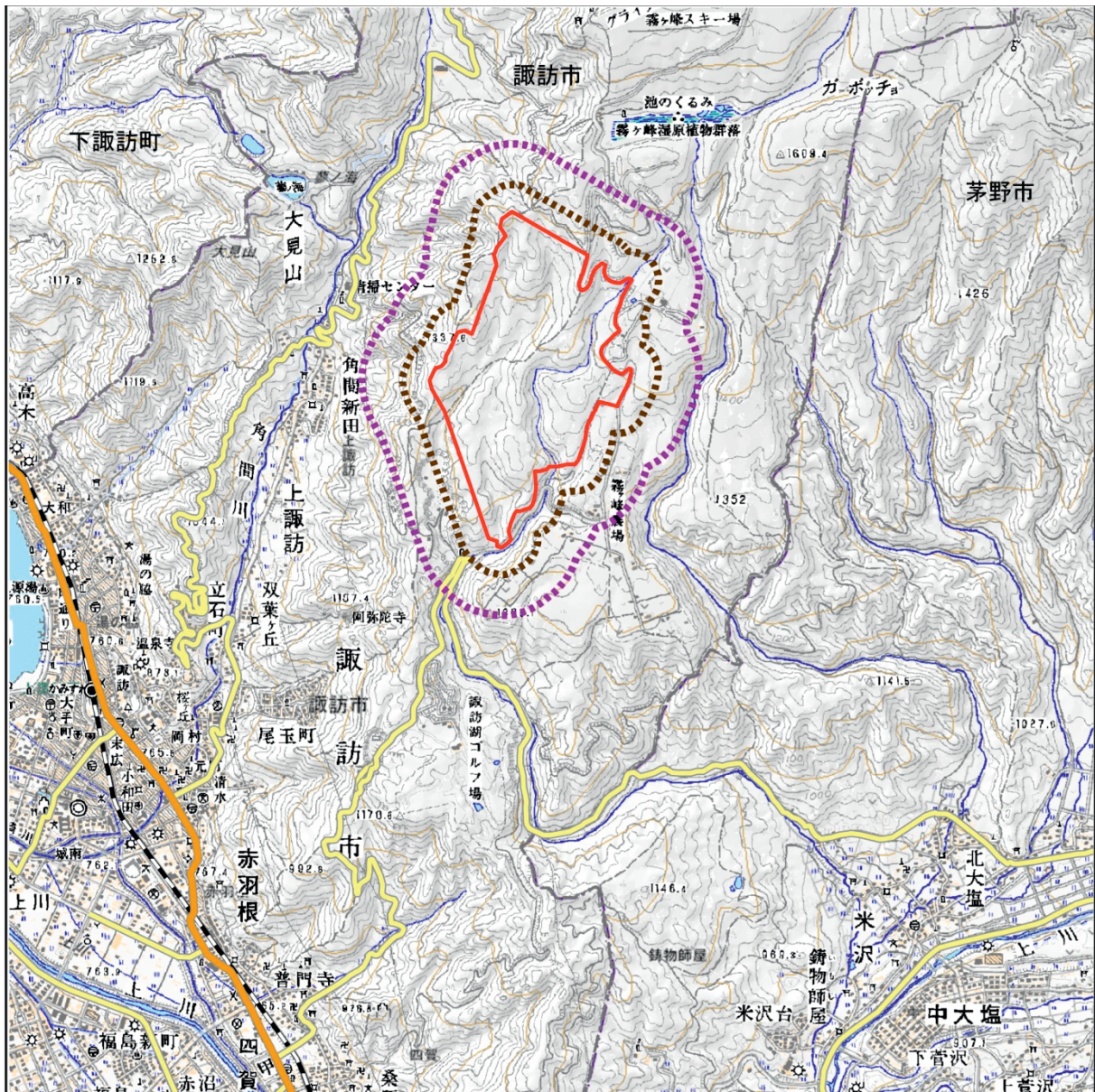
表4-10-1 現地調査内容（動物）

環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期等
動物 ・動物相 ・注目すべき種 及び個体群	哺乳類	任意観察	春季、夏季、秋季、冬季 (4季)
		フィールドサイン法	
		トラップ法	春季、夏季、秋季 (3季)
		コウモリ類に係るバットディテクター調査及び捕獲調査	初夏、夏季 (2季)
		大型哺乳類の生息状況調査	H28.4～H29.3まで連続的に撮影
		樹上性哺乳類の確認調査	H28.4～H28.11まで連続的に撮影
	鳥類(希少猛禽類以外)	ラインセンサス法(全季節) 任意観察(全季節)	春季、初夏、夏季、秋季、冬季 (5季)
	鳥類 (希少猛禽類)	定点観察法(2繁殖期) (繁殖が確認された場合は、営巣確認調査等を実施とともに、適宜、調査頻度、および調査範囲等を拡大)	<ul style="list-style-type: none"> ・定点観察法 H27.11～H28.7 (月1回:3日間) H28.12～H29.7 (H28.12～H29.2:月1回2日間、H29.3～H29.7:月1回3日間) ・営巣確認調査 H28.5、7(各1回1日) H29.6(2日間)、7(1日)
	両生類・爬虫類	直接観察、任意採取	早春季、春季、夏季、秋季 (4季)
		希少両生類の確認調査	春季 (1季)
	昆虫類	直接観察、任意採取、ライトトラップ、ベイトトラップ	春季、初夏、夏季、秋季 (4季)
		チョウ類のトランセクト調査	夏季 (1季)
		希少昆虫類の確認調査	初夏、夏季、秋季 (3季)
	魚類	任意採取	春季、夏季、秋季 (3季)
		魚類の生息数調査	春季、夏季、秋季 (3季)
		魚類の繁殖状況調査	秋季 (1季)
	底生動物	任意採取、定量採取	早春季、春季、夏季、秋季 (4季)
	陸・淡水産貝類	直接観察、任意採取	早春季、春季、夏季、秋季 (4季)

2. 調査地域及び地点

動物の調査地域は、事業の実施により動物に影響を及ぼすと予想される地域とし、行動範囲の広い哺乳類及び鳥類(希少猛禽類)については対象事業実施区域から500m程度、それ以外の動物については対象事業実施区域から200m程度の範囲とした。

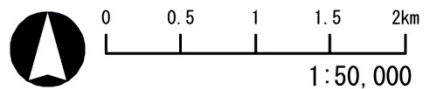
各調査項目における調査地域及び地点を図4-10-1～9に示す。

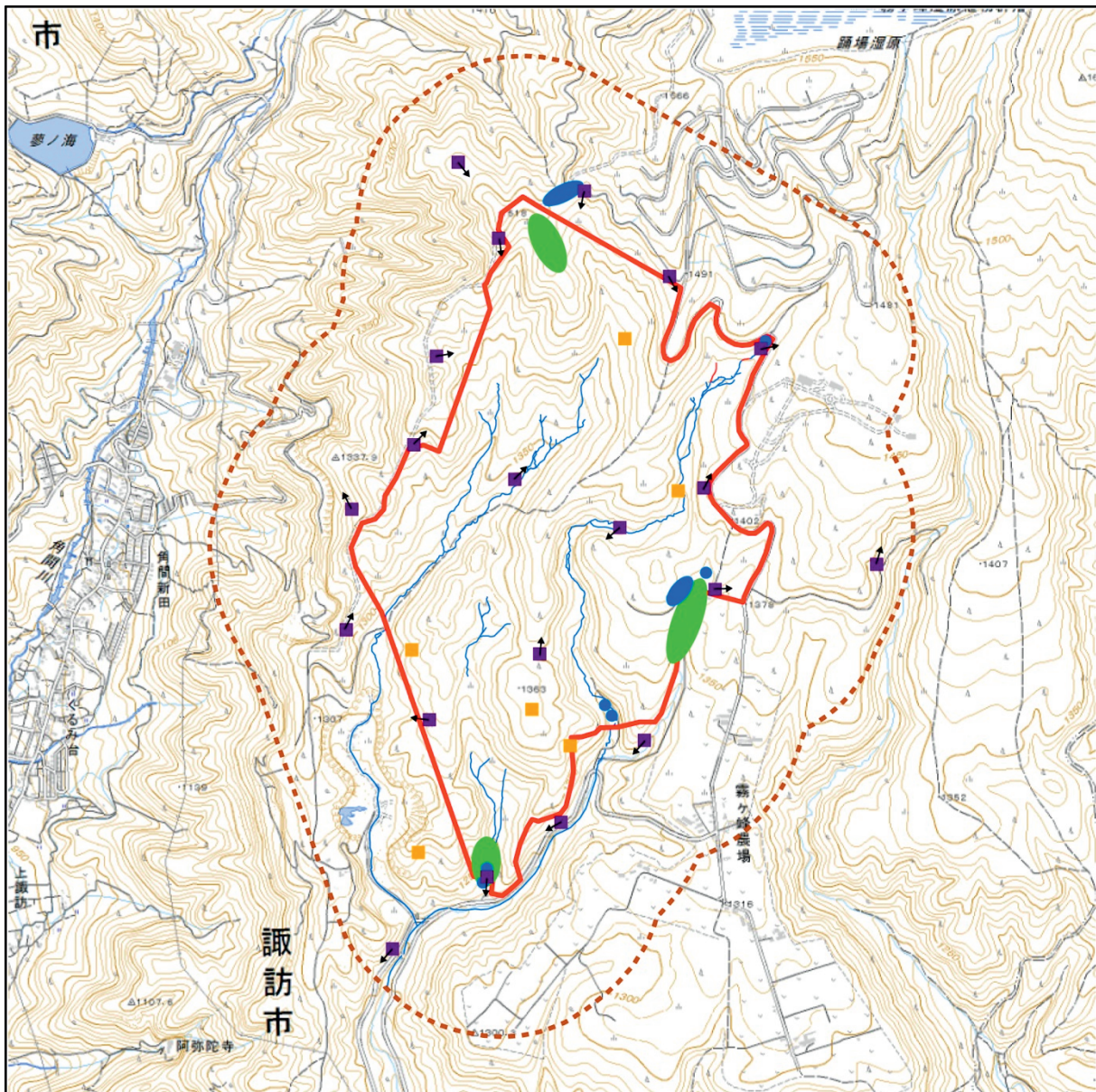


凡例

- 対象事業実施区域
- 動物調査地域(哺乳類・希少猛禽類以外)
- 哺乳類・希少猛禽類調査地域

図 4-10-1 動物調査地域

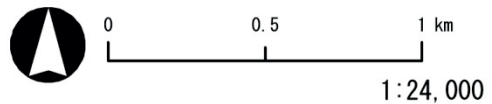


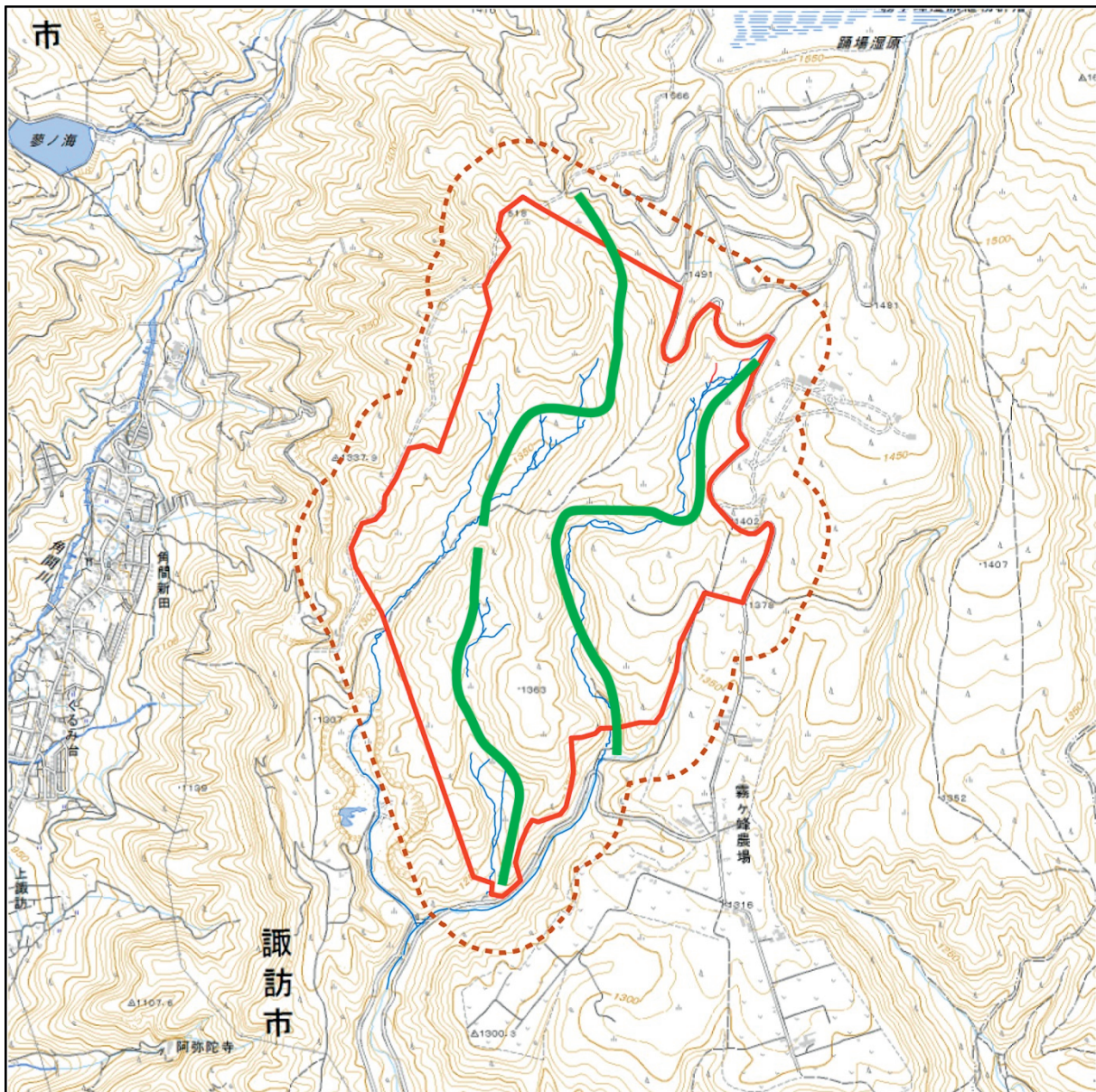


凡 例

- 対象事業実施区域
- 哺乳類調査地域
- 捕獲調査地点(ネズミ類・モグラ類)
- 獲調調査地点(コウモリ類)
- センサーカメラ設置地点(大型哺乳類)
- センサーカメラ撮影方向(大型哺乳類)
- センサーカメラ撮影地点(樹上性哺乳類)

図 4-10-2 動物調査地域 (哺乳類)





凡 例

- 対象事業実施区域
- 鳥類調査地域
- ラインセンサス法ルート

図 4-10-3 動物調査地域（鳥類）

